

2026年04月14日(火)【外為Lab】松田哲
タイトル:【トランプ大統領のホルムス海峡封鎖】

トランプ大統領が、ホルムス海峡の封鎖を開始した。

この戦争が始まって以降、トランプ大統領は、イランに対して、無条件でホルムス海峡の封鎖を止めるように主張してきた。

それにもかかわらず、昨日(2026年4月13日)、米海軍がホルムス海峡の封鎖を開始した、と表明した。

報道によると、空母を含んで、15隻を超える米軍の艦艇が配置された様子だ。

+++++

ホルムス海峡を封鎖すれば、イランにとって重要な資金源を断つことができる可能性がある。

しかし、ホルムス海峡を封鎖することで、イラン産原油が供給されなくなれば、世界の原油価格は、さらに急騰する可能性が高い。

だから、米海軍は、従来、イランのタンカーが通航することを認めてきた。

イラン産原油が供給されることで、世界の原油価格急騰を抑制する助けになるからだ。

+++++

世界の原油価格急騰は、米国内のガソリン価格の急騰に直結する。

そして、米国内のガソリン価格の急騰は、トランプ大統領の不支持に帰結する。

トランプ大統領の支持率が下がれば、年内の米国中間選挙で、トランプ政権が勝つことは難しい、と考えられる。

そのために、トランプ大統領はイランに、ホルムス海峡の封鎖を止めるように主張してきた。

トランプ大統領が、ホルムス海峡を封鎖することは、180度の方向転換だ。

+++++

先に述べた通りに、米海軍がホルムス海峡を封鎖するのは、イランの資金源を断つことが目的だろう。

しかし、それには時間がかかる。

この戦争が始まり、原油価格が急騰したことで、既に、イランは大きな戦争資金を調達している、と考えられる。

その状況下で、改めて、イランの資金源を断つとしても、枯渇するまでに、相応の時間がかかる、と考えるべきだろう。

+++++

トランプ大統領の行動・発言は、その場しのぎで、チグハグに映る。

トランプ大統領は、イランが早期に米国の言いなりに合意するだろう、といった内容の発言を繰り返しているが、安易にトランプ大統領の言葉を信用する訳にはいかない、と考えます。

別な言い方をすれば、米国とイランの合意には、まだまだ時間がかかる、と考えます。

+++++

しかしながら、トランプ大統領の行動・発言は、マーケット（金融市場、株式市場、商品市場など）に大きく影響するので、そこに最大限に注目する必要があります。

外国為替市場でも、最大の関心事は米国対イランの問題と考えます。

現在の状況は、米国・イスラエルとイランの戦争状態が、今後どうなるのか、不透明なままで、何も変わっていない、と考えます。

引き続き、リスクをコントロールして、慎重に対応すべき、と考えます。

+++++

+++++

(2026年4月14日東京時間14:10記述)